

9月・10月の催し物

紙の博物館



☎ 893-0886

- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 毎週月曜日
(ただし、祝日は開館し翌日は休館)

<http://kamihaku.com/> 検索

- 販売コーナーは、入場無料です。
- 購入日から1年間、何度でも入場できるお得な年間観覧券(1,500円)販売中
- 龍馬パスポート・高知家プレミアム旅行券参加施設です。

◆土佐和紙・礼賛「和紙造形」展 9月5日(土)～9月27日(日)

ペーパーアーティスト原豊喜氏が土佐和紙の魅力とパワーを様々な手法で造形した作品約20点を展示します。

ワークショップ

内容：かわいい壁飾り
～Paper Ornament～
対象：中学生以下
(未就学児は保護者同伴)
※はさみを使用します。
日時：9/12(土)・13(日)・
19(土)・20(日)
1回目 10:00～11:00
2回目 14:00～15:00
※各回先着10名まで
参加費：500円(入場料別途必要)

◆開館30周年記念
伊藤神谷「書の世界」展3
9月5日(土)～10月4日(日)
いの町名誉町民伊藤神谷の書のうち、新たに額装した作品を展示します。

作品解説

解説者：濱田 尚川氏
日時：9/13(日)・20(日)・27(日)
各日13:00～
※申込不要

◆橋雅会書展4
9月5日(土)～10月4日(日)
書家伊藤神谷の足跡から書を学ぶ「橋雅会」会員の作品を展示します。

作品募集

■手づくり紙芝居コンクール
募集締切 11月29日(日)
本選及び表彰式 1月17日(日)
参加費 無料
自作自演の手づくり紙芝居コンクールを開催します。子どもからお年寄りまで楽しめる紙芝居を作ってみませんか？予選通過者には、本選で実演していただきます。詳細は、紙の博物館ホームページをご覧ください。

開館30周年記念連続講演会のご案内

紙の博物館開館30周年を記念して、紙に関する全5回の連続講座を開催します。

第3回「特殊紙のたどった道」

日時：11月14日(土)
14:00～15:30
講師：(一社)高知県製紙工業会
紙産業特別技術支援員・
農学博士

原 啓志氏
概要：特殊紙の技術的変遷における手漉き和紙との関連について

定員：30名
申込：紙の博物館までお電話又は直接お申し込みください。

ギャラリー・コパ

☎ 893-1200
●開館時間 9:00～17:00

◆古布・着物リメイク展示即売展
9月2日(水)～9月6日(日)
高知市、井本さんご夫婦の展示会です。古布や着物で作った世界に一つしかないリメイク洋服を中心にバッグ、焼物、油絵など約250点を展示販売します。

◆初秋のちょっと楽しい手作りいろ・色展
9月9日(水)～9月12日(土)
南の風グループ5名による展示会で

す。ちょっとお洒落な普段着をテーマに天然素材・着物素材を使った洋服・布小物、アクセサリーなど約80点、素材としての着物、反物、帯など約50点を展示販売します。

◆備前焼 三人展
9月18日(金)～9月22日(火)
岡山県備前市の吉延真一さん、本山直義さん、竹崎典泰さんの同期による作陶展です。器の美、使いやすさを追求した食器、酒器、壺、花器など約500点を展示販売します。

◆ももたろうの生活骨董・リメイク服展
9月25日(金)～9月28日(月)
(最終日12:00まで)

松山市、ももたろうの展示会です。古き良き品を現代生活にお洒落にディスプレイしていただきたいと、生活骨董品、古民具、古布のリメイク洋服など約300点を展示販売します。

また、同時開催として、いの町、宮地さんの古布で作った洋服や小物類、佐川町、岡田さんの裂織で作った洋服、バッグ、小物類を展示販売します。

9/27(日)13:00～宮地さんのワークショップ
「古布でつくるバラの花」があります。事前予約をお願いします。

◆秋の和布展
10月2日(金)～10月6日(火)
土佐市、浪漫堂の展示会です。人気の和布素材で、一点一点手作りの着心地の良い生活着を中心に帽子やバッグ、アクセサリーなど約300点を展示販売します。

◆イノビ・オーダー555(ファイズ)
10月10日(土)～10月18日(日)
いの商店街を中心とする古民家、空店舗などを活用したアートイベントです。様々な分野で活躍する県内外の作家による立体・平面・写真・映像などを展示します。5回目の節目となる今回は、過去最大とするべく、15展示会場、参加アーティスト総勢55名、ワークショップ、ライブなどを予定しています。